

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年6月22日(木)	確認目的	異常発生時の機動的対応訓練の実施状況の確認
確認箇所	K4タンクエリア及び周辺、A排水路放水ゲート、K1北タンクエリア		
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input type="checkbox"/> 移送設備	<input type="checkbox"/> 希釈設備 <input checked="" type="checkbox"/> その他
確認結果	<p>東京電力では、ALPS処理水の測定・確認用タンク（K4タンク）の連結弁を自動弁（大きな地震時に閉）に改造する計画である。県では、福島県原子力発電所安全確保技術検討会において、弁の改造が完了するまでの間、大きな地震等によりK4タンクの連結管等が損傷してALPS処理水が漏えいし、堰を越流するリスクがあることを指摘している。</p> <p>本日、堰を越流する事象発生時の被害拡大防止を想定した模擬訓練が行われたことから、状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K4タンクエリア東側は下り勾配となっており、タンクから漏えいした水が排水路に流入する可能性があることから、流入リスクの高いK4タンクエリア東側の排水路付近にて、土のう設置訓練状況を確認した。（写真1） ・ 上記排水路に流入した際に流れこむA排水路にて、海への漏えいを防ぐため、ゲート封鎖及びK1北タンクエリアの堰内に水を移送するための訓練状況を確認した。（写真2） ・ K4タンクエリアの堰を越流する前に隣接するK3タンクエリアや増設・高性能ALPSタンクエリアの堰内に水を移送するための訓練状況を確認した。（写真3） ・ K4タンクエリア堰内から直接水を吸引し、プロセス主建屋に水を移送するための高圧吸引車（パワープロベスター）の操作訓練状況を確認した。（写真4） 		
			
	（写真1）土のう設置訓練の状況 （グレーチングに土のうを設置している様子）	（写真2）A排水路移送訓練の状況 （ポンプ起動模擬訓練）	
			
	（写真3） K4タンクエリア移送訓練の状況 （ポンプ起動模擬訓練）	（写真4）高圧吸引車の操作訓練状況	